

1	審議会名	丸子地域協議会
2	日時	令和5年3月2日(木曜日) 午後1時30分から午後2時30分まで
3	会場	丸子ふれあいステーション 3階 会議室
4	出席者	小林勉会長、石合茂委員、上野隆子委員、金田弘美委員、齋藤由紀子委員 高木賢一委員、田中幸子委員、中沢誠委員、中山康昭委員 堀内茂一委員、丸山登志一委員、山本幸恵委員、割田栄二委員
5	市側出席者	中村丸子地域自治センター長 春原丸子地域自治センター次長兼地域振興課長 小林丸子地域振興政策幹兼丸子地域教育事務所長 青木丸子市民サービス課長、竹花丸子産業観光課産業企画担当政策幹 深井丸子建設課土木担当係長、杉浦丸子・武石上下水道課長、関丸子消防署長 矢ヶ崎地域振興課長補佐兼地域政策担当係長、倉澤主査、佐藤主査、中島主任
6	公開・非公開等の別	公開 ・ 一部公開 ・ 非公開
7	傍聴者	0人 ・ 記者 1人
8	会議概要作成年月日	令和5年3月10日

1	開会(春原センター次長)
2	小林会長あいさつ
3	会議事項
	(1) 丸子地域「小中学校通学費補助金」改正方針について(学校教育課) 【資料1】 ・資料に沿い、担当課から説明。
	<p><質疑・応答></p> <p>(委員) 中学生に確認したところ、冬場は日が暮れるのが早いため、暗い依田川沿いの道を自転車で帰宅となる。依田川の堤防沿いは外灯もない。3km以上ある子は、雨天等で徒歩になると片道40分～1時間かかる。子ども達が安全に通学できるような場所ではないと思う。条件によっては公共交通機関を使って帰ることも今後検討していただけたらと思う。</p> <p>(担当課) 具体的にはどのあたりか。</p> <p>(委員) 依田川から塩川方面に帰宅する中学生からの意見で、冬場真っ暗な中で帰宅したとのこと。現在は核家族化も進み、保護者が共働きで迎えに行けない状況だと思う。夕方に公共交通機関を使って帰れると子ども達も安心だと思うので検討をお願いしたい。</p> <p>(担当課) 学校から状況を伺いながら確認していく。</p> <p>(委員) 「合併後早急に基準を策定し統一する」との調整方針を受け、統一に向けた検討を重ねてきたが、制度創設時の背景が様々であることなどから未だ統一が図れていないと言うが、平成18年に合併して大分経っている。出生率の問題もあり、子ども達が暮らしやすい、育てやすい地域を作らなければいけない。もっと早くやるべきだと思う。また、これまでの上田、真田、武石地域の対象者数や、実績金額などデータを示してほしい。</p> <p>(担当課) その通りで、この間に丸子地域の小中学校を卒業した子どもたち、保護者の皆さまには申し訳ない気持ち。対応が遅くなったこと大変反省している。何も資料がない中で提示金額が妥当かどうかもあると思う。金額等については旧上田地域と同額だが、例えば自転車・徒歩区分で真田地域は月額制となっている。今後どうしていくかという課題もある。金額については、県内他市の状況も含め、距離という点から4,500円は妥当と考えている。今回はこの金額を提示しているが、今後統一を図っていくうえで変更の余地もある。</p> <p>(事務局) 本日欠席の委員からこの通学費補助と直接関係はしてないが意見があった。西内地区は本来西内小学校だが、数名の児童が丸子中央小学校へ通学している現状があり、その児童たちは東内地区の虚空蔵に来るスクールバスで通っている。丸子中学校は鹿教湯までスクールバスが来ている。小学生も鹿教湯までスクールバスが来るように考えていただきたいという要望があった。</p>

(担当課) 丸子中央小学校行のスクールバスが虚空蔵からスタートしており、現状それを延伸することは来年度考えていないが、要望があることはしっかり受け止めたい。令和 6 年度に西内小学校と丸子中央小学校の統合の際は、スクールバスに関しては中学校と同じ鹿教湯の車庫まで延伸したいと考えている。

(2) 住民自治組織交付金要綱及び活力あるまちづくり支援金事業の一部改定について
(市民参加・協働推進課) 【当日資料 1】

・資料に沿い、担当課から説明。

<質疑・応答>

(委員) 現行の改正案を不服とするものではないが、確認したいことがある。住民自治組織の細分化を抑制するものではないとあるので、今後丸子地域の中で新しい組織を独立して作りたいという場合には、対象になるということでよろしいか。

(担当課) 独立ができないわけではないが、50 万円交付していたところ 30 万円になる。再編が地域の皆さんの総意で、該当地区や丸子地域全体の総意が得られれば、独立できないわけではない。

(委員) 今の話だと、独立するには該当地区だけの総意ではなく、丸子地域全体の総意がないと独立できないのか。

(担当課) 現状、丸子まちづくり会議の中でスタートした住民自治組織のため、そちらとも合意を図りながら進めていってほしいと考えている。

(委員) 丸子まちづくり会議が設立されるとき条件として、各地区会議が独立する場合については丸子まちづくり会議が協力、応援するという付帯条件が付いている。それについてはどう考えているのか。

(担当課) 今後、小さい単位で住民自治組織が出来上がることを妨げるものではないという意見もいただいているので、独立していくのは構わないと思うが、住民自治組織の中で最初に作成したものを現段階で最重視するというのならそれで良いかと思うが、数年経って社会情勢も変わる中でもう一度検討して、それを最優先で行うとなればそれは問題ないかと思う。

(委員) いずれにしろ地域の合意が得られれば、なお良いと解釈した。

(3) 令和 5 年度わがまち魅力アップ応援事業（継続事業）の選考審査 【資料 2】

<質疑・応答>なし

「腰越村記録の会」一採択

「内村の歴史を学び伝える会」一採択

4 その他

(1) 今後の協議会日程について

令和 5 年度

第 1 回	4 月 2 7 日 (木)	午後 1 時 30 分	丸子地域自治センター	4 階	講堂
第 2 回	5 月 2 5 日 (木)	午後 1 時 30 分	丸子地域自治センター	4 階	講堂
第 3 回	6 月 2 2 日 (木)	午後 1 時 30 分	丸子地域自治センター	4 階	講堂

5 閉 会

【分科会等の開催】 全分科会：休会